

久留米市社会福祉協議会 令和5年度事業計画

基本理念

地域共生社会の実現に貢献する

基本方針

- ①あらゆる生活課題への対応
- ②地域のつながりの再構築
- ③地域から信頼される組織づくり

今般の新型コロナウイルス感染症拡大により、多くの人が失業など、経済的な困窮状態に陥るとともに、人と人がつながることが難しくなり、孤独・孤立問題が深刻化するなど、私たちの日常生活は、大きく影響を受けています。

このような状況の中でも、支援を必要とする人に適切な支援をつなげるとともに、「支える側」「支えられる側」という関係を越え、みんなでみんなを支え合う活動が、新たに始まっています。

このことを踏まえ、本会では、多様な主体と連携した地域福祉活動の展開や、ポストコロナに向けた福祉教育、新たに顕在化してき

た生活困窮者支援、地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応する相談支援、社会とのつながりを回復する参加支援、地域づくりに向けた支援を一体的に進め、包括的・重層的な支援体制と様々な支援活動のネットワークの構築を目指します。

①地域福祉活動の推進支援

- 「校区福祉活動計画」の策定・見直しの支援

- 見守りや支援の対象者を広げる取組みとして、高齢者や子ども、障害者などの事例について、行政や関係機関等との協力支援

- 生活困窮者等への支援につながるフードドライブ活動等の支援、普及

②相談・支援

- 潜在的な課題をもつ人へアウトリーチの実施

- 関係機関等と連携した支援会議の開催

- 関係団体の協力を求め地域住民とともに伴走型の支援

③権利擁護

- 中核機関の一部機能の受

託と成年後見センターの機能の充実

- 法人後見支援員の実務能力向上による市民後見人の育成

④在宅福祉サービス

- 要介護認定調査員の資質向上に努め、継続して適正な調査を実施

- 有識者等による委員会等で当法人の介護保険事業の方向性を検討

⑤災害への対応

- 災害支援が安定的、継続的に行えるよう必要に応じて連携協定の締結

- 避難行動要支援者の避難計画となる災害時マイプランの作成支援

⑥情報の発信・広報

- SNS等の活用によるタイムリーな情報の発信

- 多様な媒体を使用し積極的な情報の提供

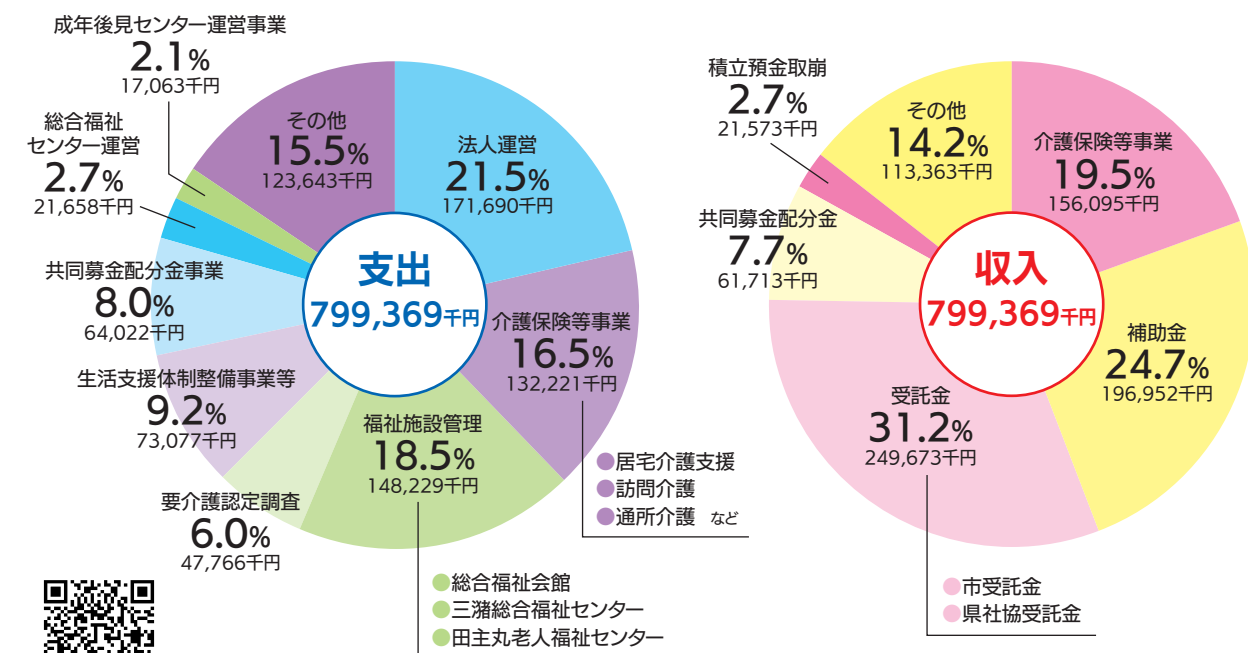
⑦事務事業の見直し

- ICT化による事務効率化と各種契約等の見直しによるコスト縮減

⑧自主財源の確保

- 本会の活動に対する理解促進を図り、より一層の財政的支援の呼びかけ

令和5年度 資金収支予算



市社協ホームページ

※詳しい事業計画や予算の内容は、市社会福祉協議会事務局及びホームページで閲覧できます。